

高松体指たより

VOL. 35



香川県体育指導委員研修会
平成23年6月12日(日)
於:香川総合体育館



高松市体育指導委員制度発足50周年記念式典 記念講演 二宮 清純氏
平成23年11月27日(日)
於:全日空ホテルクレメント高松



高松市体育指導委員制度発足50周年記念式典
平成23年11月27日(日)
於:全日空ホテルクレメント高松



トリムの祭典
平成23年10月20日(月) 於:サンポート高松

めざせ
オンリーワン!!

第三十四回 さわやかママさんバレーボール大会

- 優勝 浅野校区
- 準優勝 香南校区
- 第三位 林 校区

優勝チームコメント

浅野チーム代表 別府 順子

優勝です！ 大変うれしく思っています。メンバー全員が、楽しみながらバレーをし、トロフィーやメダルを頂いたこと、とてもうれしいです。優勝要因は、個々のプレーはもろろんのこと、番の要因は「チームワーク」だと思っています。すばらしいメンバーと一緒に参加できたこともうれしく思っています。

次回も参加して、是非とも二連覇目指してがんばりたいと思います。

この大会に関係して頂いた浅野校区の皆様方、応援ありがとうございました。

初めて参加して

木太校区 山田 朋子

今回は試合経験が初めての人もおり、楽しくプレーすることを目標に参加しました。今回はボールをみんなであつないで、相手コートに返せるように頑張りたいです。運営に携わった皆様のおかげで楽しい一日を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。

講評

バレーボール部 部長 窪田 純子

六月二十六日 標記大会が開催され、

浅野校区が初出場で初優勝の快挙でした。さて、昨年から課題は、参加チームをいかにして増やすかという事でした。部会等で検討の上、少人数でも参加できるように、九人制のルールを適用しながら、コート内六人、七人以上のチーム編成といった変則的なルールを考えたところ、参加チームも幾分か増え、大変嬉しく思いました。

敗者戦も、試合が終わったチームから順次試合を進めていく方式をとり、混乱もなくスムーズに行うことが出来たように思います。ルール変更で若い方の参加が多くなりましたが、熟年の参加者もいっしょに楽しめる方法も考えなければと、思いました。

エントリー変更が多く、差し替えが出来ていない校区が沢山あり、受付が混乱しました。次回からは、事前に対応していただくようお願いいたします。

次年度、よりたくさんさんのチームに参加していただけるよう、ご協力いただきましたアンケートを参考に競技内容を検討していきたいと思っております。

早朝より運営に携わっていただきました身体指の方々、ご協力ありがとうございました。

今年四月から大会直前まで、週一回のナイター練習と古高松体協との定期的練習試合が爽り、初優勝できました。試合経過は、二回戦不戦勝、二回戦の川添とは最終回三點差を逆転し、八対七の勝利、準決勝で二宮を破り、決勝戦の下笠居でした。いずれの試合も、当日の参加選手が十名となったことで団結力が高まり、全員が諦めない気持ちでチーム丸となって戦ったことが勝因と考えています。来年もこの六十歳以上スローピッチソフトボール大会に参加することを目標に仲間たちとソフトボールを楽しみ、健康に過ごしたいと思っています。

第32回 さわやかママさんソフトボール大会

六十歳以上男子 & スローピッチソフトボール大会

- さわやかママさん
- 優勝 花園校区
- 準優勝 太田校区
- 第三位 円座校区

優勝チームコメント

花園体協女子ソフト代表 英 直子

今年金メダル！ 去年は銀メダルで悔しい思いをした分、優勝を目標に楽しく全力でチーム丸となり、天候は雨でも最後に心は晴天になりました。

メンバーが足りないため、子どものスポーツの試合や、風邪をひいた子を家族に預け、ギリギリのメンバーで雨にも負けず助け合った結果です。

グラウンド状況が悪い中、皆条件は同じ。とにかく試合が出来て良かったです。体指の皆様にも大変なご苦労をお掛けし有難く、同時にメンバー・体協にも感謝致します。来年も気持ちを新たに、べんを目指します！！

みんなの力で優勝！

屋島西チーム 監督 木村 幸二

今年四月から大会直前まで、週一回のナイター練習と古高松体協との定期的練習試合が爽り、初優勝できました。試合経過は、二回戦不戦勝、二回戦の川添とは最終回三點差を逆転し、八対七の勝利、準決勝で二宮を破り、決勝戦の下笠居でした。いずれの試合も、当日の参加選手が十名となったことで団結力が高まり、全員が諦めない気持ちでチーム丸となって戦ったことが勝因と考えています。来年もこの六十歳以上スローピッチソフトボール大会に参加することを目標に仲間たちとソフトボールを楽しみ、健康に過ごしたいと思っています。



講評

大会を終えて

ソフトボール部 副部長 河谷 百合子

今年も天気心配……

前日からの雨は、夜には止んで、当日の朝のグラウンドコンディションは「バツグン!!」でしたが、やはり、空から落ちてくる雨には勝てず、すぐに水がういてきた中でプレー。次週に延期と思っていた時に、「私たちもグラウンド整備しますから試合を続けましょう。」と

の選手たちの声に励まされ、グラウンドの中の水をスポンジで吸い取り、土を入れてのプレー再開でした。おかげ様で二日で無事に大会を終える事が出来ました。

皆様の協力があったからこそ感謝しています。今後の大会運営にも課題がありますが、多くのチームが参加できるように努力したいと思います。本当に朝早くから、雨の中一日、お疲れ様でした。ありがとうございます。

第一回 さわやかドッジボール大会

- フレンドリーの部
優勝 林 校区
- 準優勝 国分寺南部校区
- 第三位 木太校区

優勝チームコメント
林チーム 木村 哲也

チームワークがよかった。練習を多くした成果だと思ふ。決勝戦はサドンデス。紙二重で勝つて、歓喜の輪ができたことに感動した。

- クイーンズの部
優勝 檀紙校区
- 準優勝 木太北部校区
- 第三位 一宮校区

優勝チームコメント
檀紙チーム 嶋崎 須美代

我が檀紙チームは二連覇を目指し頑張ってきました。目標を達成することが出来てとてもうれしいです。

今回はとにかく若い選手を集めようといういろいろな部から集まってくれました。予選リーグは順調に勝ち上がりましたが、さすがに準決勝ではセット先取されて焦りました。二セット目は戦略をすぐ修正して勝つことが出来、三セットは同点でサドンデスに突入しましたが、わずかに四五秒でアタックがヒットしました。この戦いが今大会我がチームが優勝出来た大きなポイントになったと思います。次回も女王の座を奪われないうようにチーム一丸となり三連覇目指し頑張ります。

講評

ドッジボール部 部長 上原 誠子

十二月四日(日)第二回高松市さわやかドッジボール大会を行いました。フレンドリーの部は林チーム、クイーンズの部は檀紙チームが優勝しました。おめでとうございます。

さて、ドッジボール部は昨年に引き続き、線審のレベルアップを第一の目標としてドッジボール協会の方に協力いただき、審判練習を何度か行いました。とは言ってもなかなか十分なことが出来ず申し訳なく思っています。

しかし本番では、試合数をこなす度に上手になつていくようで、ナイスジャッジをたくさん見られて良かったです。お疲れ様でした。今回、協賛の変更で、名称が第一回



さわやかドッジボール大会となりましたが、今まで築いてきた十五回の歴史と先駆者の苦勞を思うと、通算で数えて名称も考え直してもよいのではないかと思います。また、皆様のご意見を頂きたいと思ひます。

第四回 ダイヤゾーンボール大会

- 優勝 川島校区
- 準優勝 大野校区
- 第三位 川東校区

優勝チームコメント
川島チーム代表 猪熊 カズ子

予選は二勝一敗の成績で、決勝トーナメントには行けずに「帰らないかな」と思っていたら運も味方して決勝まで来られました。チームワークで勝てたと思います。ありがとうございます。来年も頑張ります。

講評

第四回ダイヤゾーン大会

普及部 部長 松本 英毅

今大会も二十五チームという多くのご参加を頂き、ありがとうございます。優勝の川島チーム、惜しくも準優勝の大野チーム、どちらが優勝してもおかしくないほどのチームで決勝戦で同点となり、大会規定の判定による決着でした。

ダイヤゾーンボールも判定が出てくるほど

の高レベルな争いになってきたという喜びと共に、運営側のよりいっそうのレベルの向上が求められるのでは？という不安もよぎりました。

今回は、役割分担を例年以上に明確にし、時間を切り詰める事で予選二〇分の試合が可能になり、今後の大会に生かされる運営になったと思っております。

その分、スポンジの各部署担当の皆様には大変なご苦勞を頂いたと心より思っており、言葉にならないほどの感謝をしております。

それぞれの賞に輝いたチームの皆様、おめでとうございます。

また、大会運営にご尽力賜りました皆様、ありがとうございます。



the 50th Anniversary

高松市体育指導委員制度発足
五十周年記念式典

平成23年11月27日(日)、全日空ホテルクレメント高松に於いて標記記念式典が盛大に挙行されました。当日の詳細は「体指連報」にてご報告させていただきます。

第五十二回
全国スポーツ推進委員研究協議会

十河校区 鹿庭 福久一

標記研究協議会が、平成二十二年十二月十日(木)・十一日(金)の二日間にわたり東京体育館を主会場に開催され、全国からスポーツ推進委員らがおよそ四千名が参加しました。第二回研究大会(当時の名称)が東京都で開催されてから実に五十一年ぶりの開催となり『全国スポーツ推進委員研究協議会』と名称を変更して第二回の記念すべき研究協議会となりました。

本大会のテーマとなった『スポーツの力で日本を元気に』は、スポーツを通じて日本を元気ある社会にすること、そして、サブテーマの『実りある生涯スポーツ社会を全国の仲間と創ろう』には、日本を元気にするためにスポーツ推進委員一人ひとりが全国の仲間と連携・協力をし、活動のモチベーションを高めていこうという狙いと思いが込められています。

研究協議については、昨年八月に施行されたスポーツ基本法の条文に加えられたスポーツ推進委員の新たな役割を踏まえながら、生涯スポーツ社会の実現へ向けて、地域スポーツ振興体制の核として新しい公共を形成するコーディネーターとして果たすべき役割の確認、取り組むべき課題等を中心に協議が深められました。

初日は、開会式の後、文部科学大臣表彰をはじめとした各部門の表彰式や張富士男氏(日本体育協会会長)による講演、シンポジウムが行われ、二日目は四会場においてテーマ別四分科会が行われました。

全国スポーツ推進委員連合
功労者表彰を受賞して

林校区 今井 由美子

体育指導委員からスポーツ推進委員に変わる記念すべき年に受賞させていただきました。自己自身にも記念となりました。思えば二十二年前に指導委員に任命された時にはこんなに長く続けるとは夢にも思っておりませんでした。ましてや、全国連合の功労者表彰を受けるなどとは他人事だと思っていきました。健康で無事にここまで続けることが出来たのも、第二に家族の協力・理解そして、地区体協の応援あつてのことだと感謝しています。

受賞を区切りにそろそろ引き時かなとも思いましたが、高松市スポ推進と地区の皆様へ恩返しをしながら、あと少し頑張ってみようと決意を新たにしています。今後共よろしくお願いいたします。



平成二十三年度 第四十三回
四国地区体育指導委員研修会

会長表彰を受賞して

二番丁地区 深谷 成徳

この度、徳島市で開催された「第四十三回四国地区スポーツ推進委員研修会」において高松市からは、私と福井眞里さんの二名が会長表彰をいただきました。

同じ地区で十六年にわたり、二人一緒に活動を続けてこられた事に喜びもさらに大きいものとなりました。これまで地区の

会長表彰を受賞して

二番丁地区 福井 眞里

平成二十四年一月二十一日・二十二日、徳島県で開催された、第四十三回四国地区スポーツ推進委員研修会で、会長表彰を受賞させていただきました。

また、同じ地区で同期の深谷さんと、二人揃って表彰されたことを、大変嬉しく思います。

早いもので、委嘱を受けて、八期十六年が終わろうとしています。その間、いろんな人との出会い、仲間の和・協力、特に地区の人々に支えられ、ここまで続けてこられたと思います。

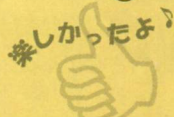
昨年は、東日本大震災があり、絆が取り上げられました。よき仲間感謝し、これらかも絆を深めて行きたいと思えます。

本当にありがとうございます。



研修旅行

3月10日(土)～11日(日)
滋賀県方面
比叡山・彦根等



インフォメーション

【お悔み】

今井由美子(夫) 林 校区
好井 勉(実父) 多肥校区
ご冥福をお祈り申し上げます

◆ 編集後記 ◆

春は出会いと別れの時、早いもので、二年が過ぎました。
退任される方、継続される方、共に「絆」を大切に、それぞれの活動に活かしていきたいものです。
今期も広報部にご協力いただきありがとうございました。



発行／高松市体育指導委員
連絡協議会
編集人／城門 政文
編集／広 報 社
印刷所／万 成 社
題 字・高松市長 大西 秀人